

# 国際シンポジウム

## バーミヤン遺跡と 大仏の将来



日時：平成29年9月30日(土) 13:00~17:30  
(開場12:00)

会場：東京藝術大学音楽学部4号館第6ホール

主催：アフガニスタン・イスラム共和国、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、東京藝術大学

後援：外務省、文化庁、文化遺産国際協力コンソーシアム、国際連合広報センター、

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、日本イコモス国内委員会

助成：ユネスコ文化遺産保存日本信託基金（外務省）、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団



※日英同時通訳あり ※参加費無料・定員200名 ※参加には必ず事前の申し込みが必要です。参加ご希望の方は、申し込み用紙にご記入の上、下記申し込み先までお送りください。[申込用紙ダウンロード先] <https://www.eurasia-geidai.org/single-post/bamiyanfuture>  
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※公式ホームページ（英語）<https://bamiyanfuture.com>



### 開催趣旨

2001年、アフガニスタンのバーミヤン大仏が破壊されたことは、世界に大きな衝撃を与えました。さらに近年、中東各地で文化遺産の意図的破壊が繰り返されるなか、紛争や自然災害によって深刻な被害を受けた文化遺産の復元に向けた取り組みが注目を集めています。アフガニスタン政府も2016年に開催された第40回世界遺産委員会において、バーミヤン大仏の再建に向けた意志を明確にしています。

しかしながら、破壊された文化遺産の復元は今なおその是非について議論の別れる課題です。復元された文化遺産が果たして歴史的な事実を踏まえたものか、復元にあたってはどのような倫理基準を適用すべきなのか、あるいは再建された遺産を地域社会はどのように受け止めるのか、など多方面からの検討が必要になるからです。

本シンポジウムでは、それに先立って東京藝術大学で開催される非公開の「大仏再建に関する国際専門家会議」（2017年9月27日～29日）での討論内容を踏まえ、具体的なバーミヤン大仏の再建案を公開すると同時に、バーミヤン遺跡と大仏、そしてアフガニスタンの将来について考える機会としたいと思います。

お問い合わせ  
参加申し込み先

東京藝術大学 社会連携センター ユーラシア文化交流センター

住所：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 Tel: 050-5525-2029 Fax: 03-5685-7814 Email: [eurasia@ml.geidai.ac.jp](mailto:eurasia@ml.geidai.ac.jp)

# PROGRAM

## 開会挨拶

13:00-13:30

東京藝術大学、外務省、文化庁、アフガニスタン・イスラム共和国情報文化省、ユネスコ

## 第1部

13:30-14:30 《基調講演》

「アフガニスタンの文化遺産を護って50年」  
前田耕作（東京藝術大学客員教授）

14:30-14:40 《休憩》

## 第2部

14:40-15:00

「大仏再建に関する国際専門家会議（2017年9月27日～29日開催）報告」  
長岡正哲（ユネスコ・カブール事務所 文化部主任）

15:00-15:20

「大仏復元についてのアフガニスタン政府の立場」  
ムハンマド・ラスル・バワリ（アフガニスタン情報文化大臣）

15:20-15:30 《休憩》

15:30-17:30

《パネルディスカッション》バーミヤン大仏の将来

【モデレーター】 山内和也（帝京大学文化財研究所教授）

【パネリスト】 タヒル・ズハイール（バーミヤン州知事）  
デボラ・クリムバーグ＝ソルター（ウィーン大学名誉教授）  
マイケル・ベツェット（イコモス名誉会長）  
マイケル・ヤンセン（オマーン・ドイツ工科大学教授）



[音楽学部構内地図]  
第6ホール(1F)  
奏楽堂  
正門  
守衛所  
▲…入口

◀ アクセスはこちら

【東京藝術大学】  
〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8  
Tel: 050-5525-2013

JR 上野駅(公園口)・鶯谷駅下車徒歩 10分  
地下鉄 銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩 15分  
千代田線根津駅下車徒歩 10分  
京成電鉄 京成上野駅下車徒歩 15分

\* 本フライヤーの掲載写真は全て Wikimedia Commons 掲載画像を利用しています。